

同窓会だより

世界で活躍する 真和OBバイオリニスト

夢を諦めずに

トロンハイム交響団(フルウェー)

第1コンサートマスター

上野 清輝 27期生

こんにちは、皆様。27期生の上野です。私は、今、ノルウェーのトロンハイム交響楽団というオーケストラで、コンサートマスターとして働いています。コンサートマスターとは、第1ヴァイオリンの最前にいる奏者のことですが、各楽器には、リーダーがそれぞれいて、コンサートマスターは第1ヴァイオリンのリーダーなのですが、指揮者に一番近い席にあり、又ヴァイオリンがメロディー部分を多く受け持つため、オーケス



2007年3月 トロンハイムバイオリンコンサートで独奏する上野清輝氏

トラの演奏面でのリーダーも兼ねています。オーケストラには指揮者がいますよね。その指揮者がやりたい音楽を、音にして皆に伝えるという仕事なのです。自分と異なる音楽観を持った指揮者、時には何をやりたいのかさっぱりわからないという指揮者もいますが、それでも良い演奏会にしていかなければならないことが難しいところですね。100人のメンバーが、それぞれ考えを持っているオーケストラをひとつにまとめるという事は、時には大変ですが、良い演奏会になって聴衆の皆様にご喜んでもらえた時は至上的な時です。

皆様から一番聞かれるのが、どのくらい練習してコンサートを行うのかということ。オーケストラやプログラムのよって違いはありますが、うちの場合、月曜から水曜まで、1日4時間のリハーサル。木曜日にコンサートというスケジュールで、毎週違うプログラムを演奏します。東京やロンドンなどの大都市のオーケストラから比べると、そんなに恵まれたスケジュールではないですが、これは、国や地方自治

体からの援助があつてこそ成り立つスケジュール。自主運営でいたら、とてもありまじけるものではありません。芸術は、国や企業からの支援があつてこそ育つていくものだと思います。経済至上主義の世の中、大変なことだと思いますが、北欧のオーケストラは恵まれた環境にあり、だからこそ、高い水準を保つていけるのだと思います。

真和高校時代は、寮に住んでいました。私の場合、通常の勉強に加えて、ヴァイオリンの練習も休まずにはいけなかったのですが、自習時間に特別許可をもらって別の部屋で練習していました。

ヴァイオリンは幼少時からずっとやっていたのですが、音楽の道に進むことを決意したのは、高1の文理系の選択時だったのを覚えています。月2回のレッスンを受けて上京

性を感じていたので、留学を決定しました。留学中も毎日練習で、基本的には日本でやっていたのと同じですが、多くの演奏会へ行き、彼らの演奏スタイルなどにとても刺激を受けました。

又、日本との習慣、文化の違いにも驚きの毎日でした。ノルウェーにはオーティションを受けたら、受かってしまふ偶然性に来たのですが、初めて団員として働いた、ベルゲンフィルでのアシスタントコンサートマスター時代の、著名な指揮者から多くの事を学び、コンサートマスターとしての仕事を学びました。

そして、今トロンハイムで念願だったコンサートマスターとして働いているわけですが、生徒の皆さんへ一言、目標を持ちそれに向けて努力する事を忘れないでください。私自身、留学前に将来を心配してくださった、某オーケストラの熊本出身の大先輩が「そうか、留学するのならそれもいいけど、とにかく頑張っていれば、必ず誰か見てやってくれるよ。」とおっしゃっていました。目標は努力し続けること必ず達成できるのです。

「雅望に生きる。素交に生きる」

真和中学・高等学校校育友会長 池永 成正



いつも大変お世話になっております。

まずは一年間大過なく育友会活動が出来たことを上田校長先生を始めとした真和中学・高等学校校教職員の皆様、並びに、育友会会員の皆様へ深く感謝申し上げます。この場をお借りいたしまして、心より御礼申し上げます。

さて、私はこの一年間、二つのキーワードを心して育友会活動に携わって参りました。

一つは、「**俗望を捨て、雅望に生きる**」という事です。俗望というのは、読んで字の如く、物欲、権力欲、名誉欲など、俗っぽい欲望です。これに対して雅望というのは、理想とか理念といった我欲の枠を超えた高い志を指します。小我にとらわれずな欲望に己を見失わずにはなく、崇高な志に基づいて行動

することです。

俗望に走る人の心が常に空しく、どこまで行っても真の満足感を得られないのと対照的に雅望に生きる人は、常に満ち足りた心の底からの充足感を感じているものだからです。

二つ目は、「**利交を捨て、素交に生きる**」という事です。

人の出会いを一期一会といえます。また、人の出会い(交わり)には「素交」と「利交」とがあります。

なんの見返りも期待しない、温かな心の交流だけがあるつき合い、これが「素交」です。

その反対に自分の利益を求めるとき合いがあり、これを「利交」といいます。

「善友は助け合つて成長し、悪友は誘いあつて墮落する」と孔子が申しておられます。やはり、なんの見返りも期待しない温かな心の交流だけがあるつきあい、即ち「素交」にこそ、育友会としての人間の真の交わりがあると思えます。

今、多くの人が豊かさの中で幸せを実感出来ずに生きている。それは、自分の行為に対してそれ相應の、あるいはそれ以上の見返りを期待し、求める人が多いからです。

世の中をよくするために、たとえ自分に何の見返りがなくても、努力すること、善き行いを積み重ねて世の中に善の循環をもたらすことが大切だと思います。

たくさんの真和を取り巻く方々のお陰で、一年間、育友会活動を通して「雅望に生きる」ことが出来ました。

私を支えて頂いた育友会の善友のお陰で、一年間、素晴らしい「素交」を経験させて頂きました。

本当にありがとうございました。

平成十九年度新入生の皆さんと在校生の皆さんへの輝かしい前途と今後の真和のさらなる飛躍を心よりお祈り申し上げます。感謝。

略歴

上野 清輝 (うへのせいき)

1973年	熊本県葦北郡芦北町生まれ
1986年	葦北郡佐敷中学校入学
1987年	熊日学生音楽コンクール熊日大賞受賞
1989年	真和高校入学
1991年	全国学生音楽コンクール九州大会第1位
1992年	東京芸術大学音楽学部器楽科入学
1996年	東京芸術大学音楽学部器楽科首席卒業 安宅賞受賞
1996年	東京芸術大学大学院音楽研究科入学
1999年	東京芸術大学大学院音楽研究科修士 文化庁派遣芸術家研修員として フランクフルト音大に留学
2000年	ベルゲンフィルハーモニー管弦楽団 第2コンサートマスター就任
2002年	トロンハイム交響楽団 第1コンサートマスター就任

クラブ・同好会紹介

- 文化部
 - 吹奏部(飛本)
 - 文芸部(北本 蘭)
 - 写真部(宮本 伸中)
 - コーラス部(元田 穂香)
 - オーケストラ部(長坂)
 - 演劇部(藤原 森下)
 - 生物部(野口 歌野)
 - 学園吹奏楽部(日野)
 - 囲碁将棋同好会(高洲)
 - E.S.同好会(北野 都)
 - J.A.S.同好会(長尾)
 - リコー太鼓同好会(宮本 悠)
- 体育部
 - 軟式野球部(岡本 武平)
 - 空手部(小森 西村)
 - 剣道部(松本)
 - サッカー部(松野 山野)
 - ハンドボール部(高木 中村 安部)
 - 女子新体操部(岡田)
 - 弓道部(細川 元田 木村)
 - バスケットボール部(長尾 福留)
 - バドミントン部(中津 足立)
 - バレーボール部(田嶋 高崎 村上)
 - 陸上部(高木 和田)
 - 卓球部(中野 希野山)

女子新体操部

テニス部(団体女子) 県高校総体3位 夏季大会ダブルス(叶・富永)優勝

学園吹奏楽部 熊本県吹奏楽コンクール銀賞

バドミントン部

オーケストラ部

コーラス部

平成十九年度 生徒役員名

◎生徒会長 川上 有紗(117)

◎副会長 船越 俊秀(113)

◎代議員 後藤正太郎(111) 原本 恰歌(112) 村上 奈穂(117) 長田 梨絵(117) 西田 晴香(115)

ホームページ

真和中学・高等学校
http://www.shinwa.ed.jp

真和同窓会(杏葉会)
http://www.shinwa-dosokai.com

同窓会お知らせ

平成19年度真和中等学校
大同窓会(杏葉会)
講演会・総会・懇親会開催。

日時:平成19年6月9日(土)18時30分
場所:熊本ホテルキャッスルにて

最後になりましたが、お世話になりました真和高校の先生方に、今一度御礼を申し上げますと共に、生徒の皆様へ、真和高校の更なるご発展を、お祈りしております。